

令和 2 年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和元年度事業対象)

令和 2 年 7 月
浦添市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）の一部改正により、平成 20 年度から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

これを受け、本市教育委員会においても平成 20 年度から点検評価を行って、その報告書を作成し、市議会に提出するとともに、本市ホームページ上において公表をいたしました。

令和 2 年度においても同様に点検評価を実施いたします。

本報告書は、令和元年度における事業の中から重点施策と位置づける事業について、点検・評価を実施し報告書としてまとめたものであります。

ぜひ、ご一読いただき、本市教育委員会の取組にご理解を賜るとともに、ご意見、ご指導を頂くことができれば幸いに存じます。

令和 2 年 7 月

浦添市教育委員会

教育長
委員
委員
委員
委員

當 間 正 和
長 田 隆 子
池 間 生 子
下 地 イツ子
又 吉 繁

目 次

I	点検・評価制度の概要	1
	1 経緯	
	2 目的	
	3 学識経験者の知見の活用	
	4 点検・評価の方法	
	*根拠法令	
II	本市教育委員会の点検・評価の方法	2
	1 点検・評価の対象となる事業の考え方	
	2 点検・評価の様式について	
	3 点検・評価書の見方	
	4 学識経験者の知見の活用について	
III	教育委員会点検・評価書（令和元年度事業）	
	1 教育委員の活動評価	4
	(1) 概要	
	(2) 名簿	
	(3) 教育委員の活動状況	
	(4) 教育委員の活動自己評価	
	2 教育長への委任事務評価	
	点検評価対象事業一覧	6
	(1) 社会教育（No.1～No. 3）	7
	(2) 文化芸術（No.4～No. 7）	10
	(3) 学校教育（No.8～No.15）	14
	資 料	
	1 議案等一覧	(1)
	2 教育委員の活動状況	(4)
	3 教育長の活動状況	(9)

点検・評価を終えて

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正及び平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成 20 年 4 月から施行されました。

地教行法改正の趣旨の大きな柱のひとつが「教育委員会の責任体制の明確化」であり、その趣旨に沿って今回の点検評価制度が導入されたものです。

これに伴い、教育委員会はその権限に属する事務について、点検・評価を行うことが義務づけられ、さらにその結果を議会に提出し、公表しなければならないこととされました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関であり、学校教育、社会教育、文化、スポーツ等の幅広い教育に関する事務を所掌しておりますが、この所掌する事務が適正かつ効果的に執行されているかどうかについては、自らが事後にチェックすることが重要であると考えられました。

今回の地教行法の改正に伴う点検・評価制度の導入により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を議会に提出し、公表することで市民の皆様への説明責任を果たします。

3 学識経験者の知見の活用

これは、点検・評価の客観性を確保するためのものです。活用の仕方については、評価の方法や結果について教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けるなど、各教育委員会の創意工夫により対応することとなります。

4 点検・評価の方法

点検・評価の具体的な方法について、国が基準を定めることはありません。点検・評価の項目や指標、議会への報告や公表の方法などについては、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

II 本市教育委員会の点検・評価の方法

1 点検・評価の対象とする事業

教育委員会の点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により「教育委員会自ら管理・執行する事務」と「教育委員会から教育長に委任されている事務」となっております。

教育長への委理事務の点検については、義務的、経常的なものを除き、重点施策と位置づける事業について行うこととし、令和2年度は15の事業を精選し、点検・評価を行いました。

2 点検・評価の様式について

点検・評価の具体的な方法については、国は定めないということは、前述したとおりですので、様式についても各教育委員会で定めることとなります。

「教育委員の活動」については、本市が平成29年度より新教育委員会制度へ移行したことに伴い、それまでの評価方式を改め、新制度の趣旨に沿って3つの項目について自己評価を行っております。

「教育長への委理事務」については、前年度の様式とほぼ同様の様式となっており、事業の自己評価に対する有識者の意見を付しております。

3 点検・評価書の見方

(1) 「教育委員の活動」

一年間の教育委員の活動を3段階評価で自己点検しました。

(2) 「教育長への委理事務」

①「事業名」は、原則として予算上の事業名を引用してあります。

②「事業概要」は、各事業の概要を簡潔に記載してあります。

③「内部評価」は、下記の指標に基づき自己評価を行いました。

④「外部評価」は、各分野の有識者の意見を付しております。

※自己評価配点基準

1 必要性・・・教育委員会が実施すべき範囲として				
・適切→3点	・概ね適切→2点	・やや不適切→1点	・不適切→0点	
2 有効性・・・予定された実績、成果を得るのに				
・有効→3点	・概ね有効→2点			
・あまり有効でない→1点	・有効でない→0点			
3 効率性・・・投入した経費等が原資に見合う				
・実績を出している→3点	・実績を概ね出している→2点			
・実績をあまり出せない→1点	・実績を出せない→0点			
4 優先度・・・本事業が他に比べて				
・優先度がある→3点	・概ね優先度がある→2点			
・あまり優先度がない→1点	・優先度がない→0点			
5 総合評価	A→総合点10点以上	B→8～9点	C→6～7点	D→5点以下

4 学識経験者の知見の活用について

この点検評価を開始した平成20年度の最初の有識者会議において有識者の方から各々の専門分野を生かすため、各有識者がそれぞれの専門分野に係りの深い部について意見を述べるのがよいのではという提案があり、以後、同様の手法を採用しております。教育委員会の各部が自己点検・評価したものに対して、意見を述べていただきました。

「点検・評価に関する有識者」名簿 (五十音順・敬称略)

氏名	専門分野	事業担当部署
大城喜江子	社会教育	教育部
下地安広	文化芸術	教育部
銘苺健	学校教育	指導部

浦添市教育行政の「点検・評価に関する有識者」に関する要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育に関する事務の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置く。

(委嘱等)

第2条 有識者は、教育に関し学識経験を有し、教育活動に熱意のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

2 有識者の任期は、当該年度における点検・評価に係る業務の終了時までとする。

(業務)

第3条 有識者は、次に掲げる業務を行う。

(1) 教育委員会が実施した点検・評価に関し意見を述べること。

(補則)

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年1月29日から施行する。

この訓令は、平成27年5月19日から施行する。

Ⅲ 教育委員会点検・評価書

1 教育委員の活動評価

(1) 概要

浦添市教育委員会は教育長と4人の教育委員で組織されています。教育委員は、毎月1回の定例会と必要に応じ臨時会へ出席し、付議された案件について審議等を行っています。また、学校や地域行事等への積極的参加や教育委員会連合会を通して、他市町村教育委員会の情報収集や教育行政に関する諸問題を研究討議し、浦添市の教育行政の発展のために努めています。

(2) 名簿

令和2年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	嵩元盛兼	平成29年5月31日～令和2年5月30日
職務 代理者	長田隆子	平成28年10月1日～令和2年9月30日
委員	池間生子	平成29年4月20日～令和3年4月19日
委員	下地イツ子	平成30年10月1日～令和4年9月30日
委員	又吉繁	平成31年4月1日～令和5年3月31日

(3) 教育委員の活動状況

	内容	延べ件数
1	教育委員会の会議(定例会・臨時会)	21
2	総合教育会議	2
3	教育委員の資質向上(研修会・勉強会等)	14
4	学校訪問	13
5	各学校行事(儀式・体育行事等)	11
6	各種行事(式典・大会等)	23
7	研究大会・会議・市主催事業等への参加	23

(4) 教育委員の活動自己評価について

平成 29 年度から新教育委員会制度に移行したことを契機に、教育委員会活動評価については、新たに教育長へのチェック機能も評価項目として加えた。各活動評価についても項目毎に ABC の評価基準を設け自己評価方式に変更した。

評価に当たっては、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保を重視しつつ、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携の強化等を踏まえて評価を行った。

＜評価基準＞			A：よくできた	B：できた	C：不十分	
項目	内 容				評価	
教育委員会の会議について	1	方針の決定や執行にあたって公正公平性・継続安定性は確保できたか。				A
		○常に公正公平性を心がけ会議に臨んだ。				
	2	議案の決定は十分な時間や資料等を確保しスムーズに審議することができたか。				B
		○議案によっては、事前の情報収集や検討にかかる時間が不十分であった。				
	3	議案の審議にあたって合議制は十分に機能したか。				A
		○各委員の建設的な意見交換の中で合議制が保たれた。				
地域住民の意向の反映について	1	学校訪問を通して、学校教育の現状を把握し、適切な支援が行えたか。				B
		○小中学校を訪問することで、現状・成果・課題及び各学校の特色ある取り組み（創意・工夫）を把握することができた。				
	2	社会教育行事・各種行事等へ参加し、現状把握することはできたか。				B
		○各種行事に参加することで、本市の市民の生涯学習や文化・スポーツ活動のひろがりに触れることができたが、現状や課題の把握については不十分であった。				
	3	外部評価の点検・評価は適切に行われ、スムーズに議会や市民へ報告・公表できたか。				A
		○9月議会への報告及び本市ホームページで公表した。				
教育長について	1	教育長は重要な審議事項や重点課題などの進捗・執行状況などを効果的に報告したか。				A
		○定例の教育委員会会議においての報告以外にも教育長への委任事務の事務進捗状況等についての報告がなされた。				
	2	会議の透明性のため、原則として、会議の議事録を作成・公表することができたか。				B
		○会議の議事録はきちんと作成できているが、市ホームページでの公開等、市民へ開かれた積極的な開示までは至っていない。				
		○教育委員が日頃関心をもっている教育課題が議題として取り上げることができた。				

2 教育長への委任事務評価

点検評価事業一覧

No.	分野	事業名	担当課	自己評価					有識者
				必要性	有効性	効率性	優先度	総合評価	
1	社会教育	地域学校協働活動推進事業	社会教育推進課	3	3	2	2	A	大城 喜江子 氏
2		スポーツ振興事業	文化スポーツ振興課	3	3	3	3	A	
3		中央公民館運営事業	中央公民館	3	2	2	3	A	
4	文化芸術	文化振興事業	文化スポーツ振興課	3	3	3	3	A	下地 安広 氏
5		浦添市内遺跡発掘調査事業	文化財課	3	3	3	3	A	
6		地域資料（浦添・沖縄）活用事業	図書館	3	3	3	2	A	
7		悠々ロマン漆に会うまち浦添推進事業	美術館	3	3	3	3	A	
8	学校教育	小学校教育振興事業（学校総務課）	学校総務課	3	3	3	3	A	銘荊 健 氏
9		学力向上対策事業	学校教育課	3	3	2	3	A	
10		学力底上げ推進支援事業	学校教育課	3	3	2	3	A	
11		中学生海外短期留学生派遣事業	学校教育課	3	3	3	3	A	
12		浦添市・泉州市小中学生交流事業	こども青少年課	3	3	3	3	A	
13		適応教室適応指導員配置事業	こども青少年課	3	3	3	3	A	
14		ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	教育研究所	3	3	3	3	A	
15		学校給食費補助金交付事業	調理場	3	2	2	2	B	

※自己評価配点基準 【各項目】 3点（適切等）～ 0点（不適切等）× 4項目
【総合評価】 A(10点以上)・B(8～9点)・C(6～7点)・D(5点以下)

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.1	事業名	地域学校協働活動推進事業	担当課	社会教育推進課								
事業概要	地域住民、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動です。											
内部評価			有識者：大城 喜江子 氏									
区分	評価	総合	説明等									
1	必要性	3	<p>成果：平成 20 年度より実施している本事業は、年々実施校を拡大し、平成 25 年度からは市内すべての小中学校（16 校）において実施している。</p> <p><R1 年度実績></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">活動日数</th> <th colspan="2" style="width: 75%;">ボランティア</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">2536 日</td> <th style="width: 50%;">登録人数</th> <th style="width: 25%;">延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2848 人</td> <td style="text-align: center;">15224 人</td> </tr> </tbody> </table> <p><おもな活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校安全指導 ・学習支援 ・環境整備 ・読み聞かせ ほか <p>これらの活動は、教員の負担軽減に繋がり、学校支援ボランティアにとっては知識や経験を生かす場が広がり、役に立っているという満足感、達成感や充実感を得ることができる機会となっている。</p> <p>また、子どもたちにとっては、多様な知識や経験をもつ地域の大人等と活動を通じて関り繋がることで、地域に対する理解と愛着、地域の担い手としての自覚が高まり、様々な経験や学習活動の充実が図られた。</p>		活動日数	ボランティア		2536 日	登録人数	延人数	2848 人	15224 人
活動日数	ボランティア											
2536 日	登録人数	延人数										
	2848 人	15224 人										
2	有効性	3	<p>国、県、市の予算で運営される事業、予算の削減が叫ばれる中で、平成 25 年から全小中学校にコーディネーターを配置した事業に展開していること、また昨年からであろうか「浦添市地域学校協働活動ボランティアだより」の広報紙を発行し、広報活動を行っていることを評価したい。</p> <p>今回、あえて厳しいことを言わせてもらおうと、決して学校教育を非難している訳ではないのを理解していただきたいのだが、学校教育の中に社会教育の概念があるのか気になる場所である。「学校支援地域本部事業」から「地域学校協働活動推進事業」と、学校を支援する地域から、地域と学校が共に運営する学校、コミュニティスクールへの移行の助走のように思えるが、特に学校はそのことをどのように捉えているのだろうかと思っている。</p> <p>「学校を核とした地域づくり」や、子どもの貧困対策で「学校がプラットフォーム」と言われているが、先生方の負担が更になくなっていないかと気になる場所である。社会教育の奥底に潜む一番の基本は、「助けて、手伝って、一緒にやろう」の言葉を発して、色々な方々の力をお借りするというにあり、人と人をつないでいく、まさに地域づくりである。それを学校が多く発することができ、また地域づくりの視点が学校で持てるのだろうか疑問である。「地域の子は地域で」から、文科省は「学校と地域でつくる学びの未来」という地域協働をうたっている。そのパイプ役にコーディネーターが配置されたのであろうとすると、学校はコーディネーターとしっかり信頼関係をつくって取り組んでいく必要があるであろう。社会に開かれた教育課程の実現にむけて、また学校と地域の相互の取り組みの実現にむけても、今後の方向性に書かれた「パートナーシップ」が大いに問われてくるのではないだろうか。</p>									
3	効率性	2										
4	優先度	2										
					<p>課題：</p> <p>地域コーディネーター、ボランティアの人材育成及び発掘、様々な技能や知識経験を持つ方のマッチングが課題である。</p>							
			<p>今後の方向性：</p> <p>地域から学校への支援だけにとどまらず、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」へと展開していきたい。</p>									

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No. 2	事業名	スポーツ振興事業		担当課	文化スポーツ振興課
事業概要	市民スポーツの普及及び振興の事業を奨励し、心身共に健康な市民の育成と体育の振興を図る。また体育団体の育成及び各種事業を通し市民の健康へのニーズの高揚と健康増進を図る。				
内部評価				有識者：大城 喜江子 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見	
1	必要性	3	成果： ① 学校体育施設解放事業 小学校11校、40,467名 中学校5校、21,649名 合計62,116名の利用者数 ② スポーツフェスティバル実施 (体力測定会等) 10月14日(月)、参加者122名 ③ ハンドボール王国まつり実施 11月10日(日)、琉球コラソン対 湧永製菓(来場者546名) 11月16日(土)、琉球コラソン対 大同特殊鋼(来場者1,398名) ④ スポーツ少年団補助金 288,000円交付 ⑤ スポーツ協会補助金 5,785,000円交付 自治会対抗陸上競技大会実施、県民 体育大会へ選手を派遣 ⑥ 備品購入事業(タラフレックス) 8,360,000円	スポーツ振興基本計画を少し覗いて、目 について文言を拾ってみた。スポーツ推進 のために指導者の養成、スポーツ施設の整 備、学校施設の利用他があり、浦添市では その取り組みは網羅されていることが、提 供された資料やヒアリングで分かった。さら に「地域におけるスポーツ振興のための 事業支援を行うこと」や、「スポーツ行事の 実施奨励、また地域の特性を生かして、魅 力ある地域づくりを進める」の文言に、ハ ンドボールの盛んな浦添市、基本計画その のものとだと密かに喜んだ。 その文言が生かされているのが琉球コラ ソンと企業との「ハンドボール王国まつり」 のリーグ戦は、プロにならなくても経験の ある企業マンとの競技は見応えがあるの ではないかと想像された。 スポーツ少年団の補助金が育成者の研修 費にも使われているのは、大切だと納得し た。時折、罵声を浴びせてのスポーツ指導 を耳にすることがあり心が痛む。強くなる ためだけのスポーツでなく人材育成のスポ ーツを考えると、指導者の学びが必須であ ることを常に実感することである。 学校体育施設開放について、数十年前か ら一般市民に体育館や運動場等の施設利用 が長く継続されているは非常に良いと思 う。中学校区での利用人数を上回る小学校 での利用は、歩いて行ける近い距離にあり、 また出身校であったり等を考えると、地域 への愛着にも繋がり、スポーツをとおした 地域づくりになっているのではないと思 う。テニスコート開放もあるが、プール開 放がないのは残念である。 気になるのは、体育の日の「スポーツフ ェスティバル」の参加者が極端に少ないの は広報不足なのか、魅力がないのか、検討 する必要があるのではないかと。人生100 年時代と言われる昨今、高齢になっても 継続してできるハンドボール大会等の生涯 スポーツもあると楽しいのではないかと。	
2	有効性	3			
3	効率性	3			
4	優先度	3			
A			課題： ① 学校体育施設解放事業において、市 民の健康増進及び体力づくりを図る 活動の場として重要な役割がある。 活動の充実を図る目的において、学 校体育施設の体育備品の整備(更新 人)を行う必要がある。 ② 体育の日に ANA SPORTS HALL て だこで、スポーツフェスティバルを 実施しているが、参加者の減少があ ることから、実施方法等の在り方を 検討したい。		
			今後の方向性： ① 学校体育施設の体育備品整備につ いて、財源確保等の課題があるが関係 部署と調整していきたい。 ② ANA SPORTS PARK 浦添を管理し ている指定管理者の自主事業と協力 して、同事業(体育の日イベント)の 強化を検討したい。		

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.03	事業名	公民館運営事業	担当課	社会教育推進課（公民館）
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生涯学習の支援や、学びの場を提供するため公民館講座を開催する。 ・社会教育関係団体等の活動の成果を地域に還元していけるよう支援を行うと共に、社会教育施設としての機能を充実させる。 ・自治公民館を学習の拠点として活用し、市民の学びと地域課題解決に向けた取り組みとして、自治公民館講座を開設する。あわせて、自治公民館の活性化と中央公民館との連携を図るためのネットワークを構築する。 			
内部評価			有識者：大城 喜江子 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を実施することにより、市民の知識と教養の向上および、仲間づくり・健康づくり等、地域コミュニティーの形成に役立った。 21 講座（全 48 回）参加人数 1,999 名 ・公民館を拠点とする社会教育団体等が学習で培った技術や知識を地域活動や公民館以外のイベント等での活動に広げ、地域社会へ積極的に還元する姿勢が徐々に広がっている。 ・自治公民館講座を開設することで自治公民館活動の活性化および中央公民館と地域の連携強化に繋がっている。 27 自治公民館 46 講座（全 154 回）参加人数 1,732 名 <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの成果を地域活動へ還元できるような社会教育活動の運営が図れるよう努める。 ・前年度に比べ実施する自治公民館は増えてきたが、実施できていない自治公民館もあり、全ての自治公民館が開催できるよう努める。（前年度 22 館→今年度 27 館） <p>今後の方向性：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や時代に即した講座の運営に努めると共に、質の高い講座を提供できるよう職員の資質向上を図る。 ・社会教育団体としての地域活動への参画と学習成果の還元を促すような指導者の育成および団体活動の運営の充実が図れるよう指導・助言していく。 ・自治公民館との連携を強化し、自治公民館活動の更なる活性化や講座の充実を図るため周知・支援する。 	<p>今回は、職員の資質について考えたい。公民館の設置は、戦後文科省の社会教育課長であった寺中作雄氏著の『公民館の建設—新しい町村の文化施設』（寺中構想）にある。戦後の荒廃した社会状況の中で新しい日本を築くには教育が必要であり、郷土の再建の拠点に「新しい町村の文化施設の建設」を提唱したものである。『町村民の集合場所であること、生活上・産業上の指導を受ける場所、交友を図る場所他、町村民の自主的要望と協力によって設置されること』が示されている。実生活に即した教育、学術文化に関する各種事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とされた。</p> <p>カリキュラムのある学校教育と違い、まったくカリキュラムのない社会教育は、寺中構想を基にしても楽しく、幅広い、様々な企画ができる。娯楽や交流の企画の中に、いかに教育的な意味合いを盛り込み、相手（受講生）に気づきを持たせることができるか等を考えると、企画する職員の資質向上は必須である。年間 21 講座（48 回）をより充実した、質の高い意味あるものにするためにも、職員（指導員）研修をこれまで以上に充実させる必要があり、職員のやり甲斐と意欲になっていくに違いない。</p> <p>地域の人々の生活に根差して、地域住民が主人公となる、住民自治や住民主体で運営する自治公民館と、浦添市に 1 館ある公立の中央公民館との連携は、今後の方向性にも掲げられたとおり重要である。</p> <p>余談になるが、おもしろい対比と思った一コマに、十数年前、元国立社会教育実践センター長の服部所長の講演会で、社会教育と学校教育は、メダカの学校と、スズメの学校であるとあった。歌詞を思いだして、なるほどそうかと納得した一コマがあり懐かしく思った。</p>
2	有効性	2		
3	効率性	2		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.04	事業名	文化振興事業	担当課	文化スポーツ振興課	
事業概要	<p>下記の文化振興団体へ補助金を交付し、文化芸術の発展、振興を図る。</p> <p>(1) 浦添市文化芸術振興事業実行委員会 浦添市文化芸術振興事業長期計画に基づき、6事業を実施した。</p> <p>(2) 文化団体育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浦添市文化協会は市民へ文化芸術に親しむ機会を創出し文化振興を図った。 ・浦添市こども文化連盟は加盟団体が各々の特色を生かした活動を図り、浦添市の文化振興の発展、こどもの社会参画、青少年の健全育成の為の事業を展開した。 				
内部評価			有識者：下地 安広 氏		
区分	評価	総合	説明等	意見	
1	必要性	3	<p>成果：</p> <p>(1) 浦添市文化芸術振興事業</p> <p>①第6回浦添市小中学生音楽コンクール (受験者 個人 65名、団体8組)</p> <p>②国立劇場おきなわ おでかけワークショップ (3回実施)</p> <p>7月2日 浦城小学校 5、6年生 (362名) 10月8日 神森中学校 1年生 (290名) 12月17日 沢岨小学校 4、5年生 (232名)</p> <p>③組踊上演300周年記念事業組踊フィールドワーク (2回実施)</p> <p>6月5日、6月6日 参加者各25名</p> <p>④気軽にクラシックコンサート(4回実施)</p> <p>6月23日 当山公民館 60名 7月28日 浦添グリーンハイツ公民館 81名 11月4日 神森集会所 51名 11月10日 城間公民館 45名</p> <p>⑤村まわり組踊</p> <p>12月14日 伊祖公民館 103名</p> <p>⑥日露交歓コンサート2019</p> <p>10月10日 来場者 775名</p> <p>(2) 文化団体育成</p> <p>①浦添市文化協会：自主事業の文化祭の開催、浦添てだこまつり等市の行事への協力、各部会各々の活動の実施。</p> <p>②浦添市こども文化連盟：加盟団体6団体が主催事業のコンサートや演奏会等を実施し、市の事業へ出演、協力。</p> <p>課題：</p> <p>市民に対し事業内容等の周知広報活動を図り、参加意欲が高まる事業の実施。 補助金交付団体の育成強化。</p> <p>今後の方向性：</p> <p>市民への周知広報活動をさらに図り、多くの市民が参加する意欲が高まる事業の展開。沖縄の伝統芸能を次世代へ継承する活動の実施および文化・芸術に親しむ機会の創出に努める。</p>	<p>浦添市文化芸術振興事業の6事業は来場者アンケートから見ると概ね好評である。その中でも②国立劇場おきなわワークショップ、③組踊上演300周年記念事業組踊フィールドワーク、④気軽にクラシックコンサート⑤村まわり組踊、⑥日露交換コンサート2019は特に好評であった。また、市文化芸術振興事業を評価する専門家委員で組織する当該事業協議会でも②④⑤⑥の4事業は「優」と評価している点で高く評価できる。しかし、僅かながら課題が見えた事業もあり、②のワークショップでは学校担当者によって事業取組みへの差があった。③のフィールドワークでは参加者に配慮したスケジュールづくりに課題があった。一方、特に気になるのは好評であった⑥のコンサートが当該年度で終了することである。今後、数年に一度は国・県の補助金等を活用し、国際的または全国的な文化芸術振興事業の誘致等も当該事業企画の際には視点に含めて欲しい。</p> <p>文化団体育成は①浦添市文化協会と②浦添市こども文化連盟の育成となっている。両団体の市主催の浦添てだこまつり等への事業協力には頭が下がる思いである。一方で今後において気がかりな点は、①浦添市文化協会は活動する同協会役員会の若返りや会員の増員、組織の活性化が課題であろう。②浦添市こども文化連盟は、当該年度の2月以降のイベントが4件中止となった事である。子供たちの舞台発表等のイベント中止は子供たちにとって残念至極であったと思慮する。</p> <p>また、この2団体の今後のイベント企画及び実施の際には新型コロナウイルス感染症対策等が必要となるであろう事が推察されることから、これまで以上に行政の支援等が必要となる事であろう。</p>	
2	有効性	3			A
3	効率性	3			
4	優先度	3			

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.05	事業名	浦添市内遺跡発掘調査事業	担当課	文化財課
事業概要	本事業は、①文化財指定された史跡など重要な遺跡について、その範囲や性格を確認し、保護を図るものである。また、②市内における大規模開発に際し、埋蔵文化財の有無の試掘調査や範囲確認調査を実施して、埋蔵文化財の適切な保護と開発者との調整業務の円滑化を図るものである。			
内部評価			有識者：下地 安広 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	成果： ①史跡浦添城跡の復元整備の設計根拠を得るための城壁遺構確認調査を実施した。調査は、近年継続実施している浦添グスク南城壁の確認調査を引き続き行った。昨年度までに見つかった城壁の延長部が新たに約 13m 出土し、高さは約 2.5m まで確認できた。また、石積みの所々に縦目地がとおる特徴も再確認できた。今調査によって同地区の城壁復元に際しての設計根拠を得ることができた。 ②牧港補給地区の一部返還地（小湾）において、埋蔵文化財の有無の確認のための試掘調査を実施し、当該地区の開発調整に向けたデータを得ることができた。 課題： ①浦添城跡の復元整備を推進するためには、これまでに発見されている城壁外面の石積みに対応する内面石積みの確認が急務である。 内面石積みを早急に確認するためには、発掘調査面積を広くする必要があり、そのためには発掘調査にかかる予算増額が課題である。 今後の方向性： ①城壁の内面石積みを早急に確認するため、発掘調査を継続実施する。 ②埋蔵文化財の保護と開発との調整を円滑に進めるため、必要に応じて試掘調査・範囲確認調査等を実施する。	浦添市の重要なグスクである①浦添城跡の発掘調査が、国の補助金を活用して継続的に実施されていることは一程度評価する。しかし、市民の浦添グスク復元への期待を踏まえて当城跡発掘調査の成果を見ると市民が期待する成果や進捗とのギャップは大きいと思慮する。また、課題として挙げている浦添城跡の発掘調査に関連する予算増額は気がかりな点であり、国県の補助金増額に向けた市教育委員会の市長部局と連携した予算増額に向けた努力をお願いしたい。多くの市民が期待する浦添城跡復元整備事業とも関連する課題でもある。 ②は牧港補給地区の一部返還（小湾の一部）に伴う当該地区開発調整の埋蔵文化財有無確認の試掘調査を実施し、埋蔵文化財有無のデータ化を図っている。基地返還に伴う速やかな埋蔵文化財有無のデータ化を図った点は行政事務の進め方として見た場合にも評価できる迅速な対応であった。今後についても円滑な埋蔵文化財行政の事務処理に努めていただきたい。
2	有効性	3		
3	効率性	3		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.06	事業名	地域資料（沖縄・浦添）活用事業	担当課	社会教育推進課 図書館
事業概要	①令和元年度沖縄学講座：「琉球沖縄史像を検証する」をテーマに全3回の講座 ②松本清張賞受賞作家と浦添市立図書館長によるプレトークショー『沖縄の歴史を語る』			
内部評価			有識者：下地 安広 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	成果：①近年の琉球沖縄史研究をめぐる議論に鑑み「琉球沖縄史像を検証する」をテーマに大学教授を招き、全3回の講座を開催。 すべての講座が受付開始から1週間以内に定員に達し、関心の高さが伺えた。終了後のアンケートからも「興味がわいた」、「わかりやすかった」等の声が多かった。 ②新進気鋭の若手作家2人（松本清張賞受賞作家、内、1人は昨年直木賞も受賞）を招き、島の外の視点から沖縄の歴史をどう描き出したのか、文学作品と沖縄の歴史との関係、沖縄の持つ可能性、魅力を縦横無尽に語りあった。 参加者の年齢層も広く、若い方にも沖縄の可能性に興味を持っていただけたと思われる。	①令和元年度沖縄学講座：「琉球沖縄史像を検証する」については、全3回とも市立図書館視聴覚室を参加者がほぼ満室にしていたことから事務局のテーマ設定や講師選定が良かったと評価する。また、参加者アンケート感想から各講座の講師の講演内容が良かったことが多く読み取れた。文化都市うらそえの基礎的な事業として、沖縄学講座の企画及び講師選定等には引き続き頑張ってもらいたい。 ②松本清張賞受賞作家らが『沖縄の歴史を語る』は、浦添市立図書館らしい講演会企画であった。参加者の感想は概ね良好で、講師3人の人柄と司会者の進行が会場をアットホームな雰囲気にし、参加者が楽しめていたこと等から高く評価する。しかし、一方で図書館が課題とした広報・定員・申込者対応等については今後の事業運営に活かして欲しい。また、講演会での質疑応答の必要性や運営体制（マイク係配置）等の一部課題についても今後の講演会等の企画運営に活かして欲しい。
2	有効性	3		
3	効率性	3		
4	優先度	2		
A			課題： 沖縄学講座は広報として新聞社2社にも掲載した際、掲載日が同日とならなかったため申込者に不公平が生じた。 トークショーは広報後、反響が大きかったため150名まで定員を増やしたが、その後のラジオでの告知で申込みが多数あり定員を超えてしまい、お断りする方も多かったため告知方法を検討したい。	
A			今後の方向性： 幅広い年代の方々に興味をもって、参加していただけるような講演を考えていきたい。 また、作家本人の講演は作家を目指している方などには大いに刺激になることなので、継続して行っていきたい。	

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.07	事業名	悠々ロマン漆とアートに出会う まち浦添推進事業		担当課	文化財課	
事業概要	沖縄振興特別推進交付金を活用した事業で漆芸美術館の特徴を活かした展覧会の開催や収蔵品の充実化、県内外への情報発信や体験企画等を実施した。企画展は「漆芸家シリーズ諸見由則展」他3回、常設展は3回のテーマ展示を行った。第3期常設展「守り伝える琉球王朝の美—沖縄県・浦添市指定有形文化財と名品展—」の会期中に開館30周年記念シンポジウムを開催した。					
内部評価				有識者：下地 安広 氏		
区分	評価	総合	説明等	意見		
1	必要性	3	<p>成果： 常設展の第1期では子供達が漆に親しめるように触れる漆器を増やし、作品の人気投票を行った。「子供にもわかりやすく、本物の漆器に触れることができてよかった」等の声が多く寄せられた。第2期では開館以来当館の展示を支えた多くの寄贈漆器と寄贈者を取り上げた。第3期は開館30周年を記念した指定文化財と名品で構成する特別展を開催した。会期中の2月1日の開館記念日にシンポジウムを実施し61人の参加があった。常設展観覧者数は6,297人(前年比+991人)。「漆芸家展」では、長年に亘り首里城正殿の塗りを手掛けた作家を取り上げ、2週間で1,173人(前年比+719人)の来館者があった。首里城火災翌日からの会期であったが、首里城からの借用作品の展示もあって、観覧者の反響は大きかった。 収蔵品関連では7点の作品購入、1点の修復委託を行った。体験企画は市内の類似施設を周遊するスタンプラリーや漆のパーツを使ったしおり作りを実施し、HPやFb、広報等で展覧会や講座等の情報を発信しつつ、県内外の交通機関へのポスター掲示などの広報宣伝を行った。</p> <p>課題： 常設展観覧者の目標を4千～5千人で設定しており、令和元年度は目標を大きく上回った。引き続き、漆芸美術館の特性をPRしつつ、親しみやすさや訪れやすい工夫や仕組みづくりを検討していきたい。 年度末(3月)は、新型コロナウイルスの影響で来館者が激減した。観覧者の安全確保と感染防止の取り組み方法が課題である。</p> <p>今後の方向性： 漆芸への関心を高める工夫や広報業務、体験事業を推進し、子供から大人まで幅広い世代の来館者増を目指す。 3密の保持と来館者の満足度を高める方法を模索しながら館のPRを継続していきたい。</p>	<p>常設展の3回にわたるテーマ設定の展示替えは県内美術館及び博物館には見られない際立つ取組みであり市美術館学芸員の頑張りが高く評価できる。また、テーマ毎に、作品の人気投票を行ったり、寄贈漆器と寄贈者にスポットを当てたり、展示構成等の企画に工夫が見られた。更に、常設展第3期と開館30周年を組み合わせたシンポジウム開催等は良い企画であった。 一方、企画展は首里城正殿の塗りを手掛けた作家を取り上げる等の美術館らしい工夫したものがあったが、市民視点で見た場合、少しもの足りない印象のミニ企画展もあった。1年から2年に一度は魅力ある企画展の実施を検討して欲しい。また、開館30周年シンポジウムについては素晴らしいパネラー(人間国宝、元県芸学長、石川県輪島漆芸美術館長、浦添市長)に相応しい会場で開催して欲しかった。 沖縄振興特別振興交付金を活用した浦添市美術館の広報宣伝・体験事業委託業務も特筆される事業取組みで高く評価する。 浦添市美術館は、昨年10月31日の首里城火災以降、歴史的琉球漆器を展示・保存・活用する施設としてその役割や重要度が益々高まっていると推察する。よって引き続き首里城復元応援を視点にした企画展等はお願したい。 また、市美術館が課題と今後の方向性で触れている新型コロナウイルス対策を踏まえた展示会企画・展示・運営については美術館・博物館施設として新たな課題であることから全国の最新取り組み等の情報収集に努め、出来ることから早急に市美術館の現場に活かして欲しい。</p>		
2	有効性	3				A
3	効率性	3				A
4	優先度	3				A

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.08	事業名	小学校教育振興事業		担当課	学校総務課
事業概要	小学校教材備品等の整備に係る事業（図書館用図書含む）。 授業に必要な備品等を整備することにより、学習効果の向上を図る。 理科備品については、国庫補助金（理科教育設備整備費等補助金）を活用。				
内部評価				有識者：銘荊 健 氏	
区分	評価	総合	説明等		意見
1	必要性	3	<p>成果：授業に必要な備品等の整備のため、各学校の希望調査を行い、理科備品、視聴覚備品、体育備品、その他、一般教材備品を購入し、学習効果の向上に努めることができた。前年度よりは多少ではあるが、学校の要望に対応できた。 （総計：16,410,256円 前年度比 170,221円の増）</p> <p>理科備品については、国庫補助金を有効に活用することで、市の財政負担の軽減になった。 図書館用図書の購入については、各学校配当予算執行率がほぼ 100%であり、図書館の環境整備に努めることができた。文部科学省が定める「学校図書館図書標準冊数」も 11校中 9校がクリアしており、残り 2校も僅差である。</p> <p>課題：各学校の要望すべてに応えることは、予算の関係上、厳しいのが現状である。</p> <p>今後の方向性：国庫補助金を今後も活用し、計画的な必要備品等の整備を継続。また、図書館用図書についても蔵書数調査を継続。</p>		<p>小学校においては、令和元年度から学習指導要領の改訂に伴って、教科書も改訂されている。その中の教材として示されている物の中にはこれまで活用してきた教具から新たな教具が示されているのもいくつかある。そこで、教科書に準拠した教材・教具を活用することで児童の学習意欲も喚起され、興味・関心が高まる事は言うまでもない。</p> <p>今回、学校用備品が僅かながら予算増額され、各学校の要求に少しでも多く応えられる状況が作れたことは事務局の努力の跡が見られる。これは、理科備品購入に際し国庫補助金（理科教育設備整備費等補助金）を有効に活用し、各学校の理科備品の要求に応え予算の 100%執行ができ、市の財政負担を少しでも軽減したことは成果で有る。また、学校図書館においては、図書館蔵書数がほとんどの学校で標準以上である。新学習指導要領で「主体的で対話的な深い学び」を実践するための補助資料として、図書の充実は必須である。教科における調べ学習は、社会科や理科、総合的な学習での資料としてインターネット活用と図書活用は併用されている。国語科においては学習辞典等学習に大きな関わりがある。更に、物語や偉人伝など児童の感性を豊かにすると共に長文における読み取る力や洞察力などの力が培われることが期待できる。併せて、新聞の配置も各学校で充実し、今後N I Eの活用が望まれ、そこには情報活用能力が育まれるので、図書館の充実と併せてその対応も必要となってくる。</p> <p>限られた予算の中で、各学校の要求をすべて満たすことは困難な事であるが、国庫補助金等の有効的活用など、少ない財源で大きな効果を図る創意工夫を期待したい。併せて学校現場での備品購入計画が単年度単位から 3年程度の長期計画へと先を見通した計画をすることで必要備品を順次揃えるなどの工夫を促す事も必要である。併せて、購入した備品の十分な活用と丁寧な取り扱いにより破損を少なくする事が求められる。それらのことが、少ない財源を効果的に活用することにも繋がっていく。</p> <p>更に、事務局においては図書の無料贈呈など企業等からの発信をキャッチし学校に情報提供するなどのサービスで学校の蔵書を少しでも増やせる連携も今後必要となってくる。</p>
2	有効性	3			
3	効率性	3			
4	優先度	3			
A					

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.09	事業名	学力向上対策事業	担当課	学校教育課
事業概要	市内幼児・児童・生徒の学力向上実現のために以下の事業を行う。 <input type="checkbox"/> 『学力向上推進要項』をもとに、学力向上推進委員会議・学力向上推進専門部会を開催する。 <input type="checkbox"/> 『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成・配布し、各幼稚園・小中学校、家庭・地域、関係各課・機関における学力向上マネジメントのPDCAサイクルを意識した取組につなげる。 <input type="checkbox"/> 中学校において、英語検定、漢字検定、数学検定受験生徒へ検定料の半額補助を行う。			
内部評価			有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	成果： ・学力向上対策事業 成果： (1) 学力向上推進委員会、専門部会を開催 <input type="checkbox"/> 学校、PTA、地域関係者、教育委員会関係者を対象に、H29～R1の3カ年計画で示された本県教育施策を踏まえて『浦添市学力向上推進要項』3カ年計画の最終年度における取組の重点「授業改善」「学習を支える力」の育成、教育委員会関係各課・関係機関が取り組む事業等について共通理解を図った。 (2) 『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成し、浦添市内全幼小中学校・関係各課へ配布 <input type="checkbox"/> 『浦添市学力向上推進実践報告書』を発行し、各学校や関係課へ配布し、令和元年度の実践を振り返り、その課題から次年度の授業改善に向けた取組計画へつなげることができた。 (3) 中学校における英語検定・漢字検定・数学検定受験者への受検料の半額補助をすることで、学習意欲向上の一助となった。 英検受験者数： 553人 漢検受験者数： 468人 数検受験者数： 151人	令和元年度は、3カ年間取り組んできた「浦添市学力向上推進要項」の最終年度であった。この間学校・PTA・地域関係者・教育委員会関係者で市内の幼児・児童・生徒の学力向上をめざしてきた成果として、各中学校区毎に共通実践目標を設定し、実践してきたことは、学校・PTA・地域・行政の共通理解が図られたからこそできたことで有り、「浦添市学力向上推進要項」は有効であったといえる。その成果を「学力向上推進実践報告書」において、個々の取り組みで具体的な授業改善や授業に向かう姿勢の確立等事例を紹介したことは、多くの教師が自らの授業改善等に参考にすることができ、多忙な教師の負担軽減に繋がることは有益な取り組みであったと言える。 また、この取り組みが継続し、令和2年度から5年間の「学力向上プラン」に繋がったことで、新学習指導要領に示された「社会に開かれた教育課程」の下、特別活動やキャリア教育を通して、学校・家庭・地域・行政が協働して、これまでの成果を踏まえた新たな課題に取り組むことを期待したい。更に、中学生に学習への意欲喚起を図るための英語検定・漢字検定・数学検定の受験料半額補助により延べ 1172 名がチャレンジでき、自己向上に努めることができたが、受験希望の生徒が全員受験でき、更に全額補助であれば更に受験者が増え、日常の学習にも意欲が出るので、財源確保の工夫が求められる。 昨年度末から、今年度初めに向け新型コロナウイルス感染拡大防止により、学校の幼児・児童・生徒が登校できない状況が続いたことで、学校に対する期待は大きく心地良い居場所になるよう学習を進める上で、学校が楽しいことが必要である。その為には、今こそ学級経営の大切さが求められる。教師と児童・生徒が信頼で繋がる学級においては、子ども達も学習に意欲があり活気がある。学力向上は、授業改善と共に学級経営力の産物である。学級経営の大切さ・必要性を今一度再確認をして学級経営力向上について助言が必要であろう。笑顔輝く幼児・児童・生徒の育みのための学力向上推進プランの発進であることを期待したい。
2	有効性	3		
3	効率性	2		
4	優先度	3		
			課題等： (1) 浦添市学力向上推進計画リーフレットを、浦添市内の幼小中学校の全職員だけでなく及び保護者、地域の方々へわかりやすく周知するとともに、さらに学校・家庭・地域・行政が協働していく具体的な取組を重点化し示していく必要がある。 (2) 『浦添市学力向上推進実践報告書』の内容を吟味し、校内研究と学力向上推進が連動した形でのまとめ方の工夫を行い、各中学校区の実践を全ての中学校区で共有し、取組の改善に生かしていく必要がある。 (3) 英語検定・漢字検定・数学検定の受験者数・補助活用者数の増。	
			今後の方向性： (1) 令和2年度より新たに「浦添市学力向上推進プラン(5カ年計画)」を策定し、保幼小・小連携、小中連携、さらに学校、家庭、地域、行政が目標達成を意識した取組を進める。 (2) 「学習を支える力」を育む共通実践事項を徹底し、授業実践を積み重ねる全校体制を構築していく。 (3) 各種検定取得の意欲付けと、生徒自身が目標に向かって計画的に学習する環境を整えるよう、各学校、家庭へと協力依頼をしていく。	

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.10	事業名	学力底上げ推進支援事業		担当課	学校教育課
事業概要	<input type="checkbox"/> 学校支援員を配置し、学校の状況に応じた適切な学習支援を行い、学力の向上を図る。 <input type="checkbox"/> 日本語教育支援員を配置し、言語指導及び学習支援を行うことにより学校生活への早期適応を図る。				
内部評価				有識者：銘莉 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見	
1	必要性	3	成果： ・ <u>学力底上げ推進支援事業</u> (1) 学校教育支援員、日本語教育支援員を配置することで、個別支援を必要とする児童・生徒への学習支援、基礎学力の定着につなげることができた。 <u>学校教育支援員 30人</u> <u>日本語教育支援員 4人</u> (2) 校内研究を中心とした日常の授業改善と放課後等の補習指導の計画的継続的な取組 <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査の平均正答率の結果は、小学校においては、国語、算数ともに全国平均を上回った。また、正答率 30%未満の児童の割合が少なくなった。中学校においてはその差を縮めることにつながった。また、無回答率の割合が低くなった。	学力の向上は、どの児童生徒もわかるようになりたい欲求は持っているが、その手立てがわからず学力不足の状態に陥っている児童生徒がいる。その手立てを支援するのが学校教育支援員であり、一斉授業において理解が難しい児童生徒に寄り添って個別的な学習支援を行い、そこで理解ができると学習への興味・関心が湧き学習意欲が高まることは、学力の底上げであり、学力底上げ推進支援事業の大きな成果である。本市の従来からの大きな課題であった学力の向上もその指標の一つである全国学力・学習状況調査において、令和元年度は小学校において、沖縄県及び全国との比較においてすべて県と国の平均をクリアしている。中学校においても県や国の平均に近づいている事は、教師の授業における指導工夫改善等の努力と学習支援員の指導方法の工夫など個別的な支援が功を奏している。しかしながら、配置された支援員の数は、支援を求める児童生徒の割合からするとまだまだ不十分で有り、各学校における支援を求める数には、ほど遠い数である。予算はあるが派遣ができない現状は、現場からすると底上げの機会を逃したことになり非常に残念である。是非、人材確保の工夫に努め、その為の要員の賃金や待遇面の再考の必要がある。 また、日本語教育支援員の存在は、日本語支援を要する児童生徒にとって、安心して学習ができる環境であり、支援員との個別学習は教科学習への意欲を高め併せて、語学を通して良き理解者として心情的にも頼りにされている。しかし、指導員が複数校を兼務することは、十分な指導の時間確保ができず充実した指導が難しい状況が懸念される。よって、今後、益々需要が増えるであろう日本語教育支援員の人材確保が課題となるので、賃金などの雇用条件の再考が必要である。	
2	有効性	3			
3	効率性	2			
4	優先度	3			
A			課題： (1) 学校現場では、学校教育支援員の役割、必要性が浸透し、更なる増員を求める声が多いが、志望者が少なく欠員もあり、募集方法と人材確保が課題である。また、日本語支援を必要とする児童・生徒が複数校にまたがるため、曜日を変えて日本語支援員を配置している状況である。		
			今後の方向性： (1) 学校現場のニーズに合わせ、学習理解に時間を要する児童生徒に寄り添って支援するために、学校教育支援員・日本語支援員の増員と人材確保に努める。		

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.11	事業名	中学生海外短期留学生派遣事業		担当課	学校教育課
事業概要	<p>(1) 本市の中学生を夏休み期間中(約3週間)海外に派遣し、海外で学習、生活する機会を与えることにより、視野を広げ、国際社会へ適応する能力・資質を向上させる。</p> <p>(2) 小中連携した英語授業の成果を実体験の中で活かす機会を設けることで、英語学習や異文化理解の意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外短期留学費用の一部を補助する。・派遣生徒に対して事前研修を行う。 ・派遣終了後は、事後報告会3回(市長報告、各中学校、市内英語教育研修会)を行う。 				
内部評価				有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等		意見
1	必要性	3	<p>成果：</p> <p>・中学生海外短期留学生派遣事業</p> <p>(1) ふるさとでこの都市応援基金を活用して、市内5中学校の代表5名の中学生を夏休み期間中に約3週間海外に派遣することができた。 (補助額は1人当たり20万円)</p> <p>1 米国ワシントン州 アーリントン</p> <p>2 内容 ホームステイによる異文化体験、語学学習、自然体験施設見学、ボランティア活動等</p> <p>(2) 報告会の実施 報告会を通して、在校生の外国語学習や国際理解に対する意識の高揚を図ることができた。また、派遣生は、自身の体験をまとめ、発表することができた。</p> <p>課題：</p> <p>令和元年度の補助額が減額となったため、保護者の負担額が増えた。応募者が減り、選考に難航した学校もあった。今後も事業を継続していくために、効果性を検証していく。</p> <p>今後の方向性：</p> <p>(1) 追跡調査の実施(隔年) 計画的に追跡調査を行い事業の効果性を検証していく。 次回追跡調査(令和2年)</p> <p>(2) 本事業の効果性が高いことから、派遣人数や補助額の増額を求める。</p>		<p>本市の小学校では、これまで文部科学省の英語特区の指定を受け、外国語(英語)学習を充実しており、その児童が中学生になり小・中学校を通して培った英語学習の成果を発揮する機会として本事業「中学生海外短期留学生派遣事業」が設けられている。短期留学を通して、これまで学んだ英語力の発揮や異文化理解を図り、今後の国際社会で活躍する人材育成の機会でもある。自主的な応募・学校推薦を経て参加した生徒は多くの収穫を得ている。日常と異なる英語文化の中での生活体験を通して、英語学習の必要性や異文化理解の他に個々の課題として、コミュニケーション能力、チャレンジやトライする気構え等一人ひとりが大きな成果を上げていることが報告書から分かる。体験を振り返り報告書を書くことや各学校での全体朝会等での報告会を通して、改めて自らの気構えの変化や精神的な変容が見つけられ、これまで以上に英語に対する興味・関心が高まり、国際社会に立った広い視野で物事を見つめていくようになっている。また、この事業の成果は参加した5名の生徒だけでなく、学校での報告会を通して、聞いていた生徒の中から「自分も外国に行ってみよう」とか「もっと英語力を付けたい」等の感想が出ていることは、今後の英語学習への意欲向上に繋がって行くであろうと期待ができる。</p> <p>本事業が、留学に参加した生徒も報告を聞いた生徒にとっても今後の英語学習への興味・関心を高めており事業効果はとても高い。</p> <p>課題としては、今後事業財源の確保を図り、保護者負担の軽減を図れるようにしたい。保護者負担額が大きくなれば、参加したくても参加できない状況がでることは残念であり本市の人材育成の面からもマイナスである。財源を確保するためには、この事業の有益性を大きくアピールする必要がある。</p> <p>そこで、本事業のリサーチを図り、派遣生徒のその後の活躍実績等の追跡して検証調査は是非必要であるので、計画している検証調査を今後も継続するよう望む。</p>
2	有効性	3			
3	効率性	3			
4	優先度	3			

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.12	事業名	浦添市・泉州市小中学生交流事業	担当課	こども青少年課
事業概要 浦添市と中国泉州市が締結した友好交流を青少年まで拡大し、2001年5月に覚書を締結した。次代を担う両市の小中学生の訪問・交流を推進することにより、国際感覚を身につけた人材の育成を図り、かつ相互の文化に対する理解と友好の絆を深めることを目的に実施する。				
内部評価			有識者：銘荊 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	成果： 令和元年度は本市の児童生徒16名、団長1名、事務局職員1名、引率教諭2名、通訳1名が8月5日から9日の日程で、中国泉州市を訪問した。 事前研修では、泉州市を理解するための壁新聞作り、泉州市の交流会で披露する出し物の練習、中国語で自己紹介を行うための勉強を行う中で児童生徒同士の交流が深まっていた。 出発前は体調管理をすることで責任感と自覚をつけ泉州市訪問期間中は様々な見聞・交流体験をとおして各自貴重な経験を得られた。 帰国後、8月22日に市長・教育長へ報告会を行い、児童生徒1人1人が、出発前の不安な様子から大きく成長した姿が印象的であった。 広報うらそえ10月号で報告会を掲載し、広く市民へ周知した。	1988年に本市と中国泉州市が友好都市の締結から31年、児童生徒の交流が始まってから19年目の本事業は、これまでの経緯や沢山の方々の協力を得て今回も大きな成果をあげることができている。 本市と泉州市の小中学生が交互に訪問を通して、文化交流を図ると共に相互理解を築き、友好を深める事を目的として今回は泉州市を4泊5日の日程で訪ねている。参加の児童・生徒にとってほとんどが初めての海外研修で有り、期待と多少の不安を持つての参加であったが、中国語研修や出し物練習など7回の事前研修を通して団員間の交流ができ、新聞作り等の活動を通して相互の信頼関係が構築されており、本研修出発では、ほとんどの子が不安を感じていない様である。事務局のこれまでの経験から得た運営は年々功を奏している。出発前に大きな期待感と自信を持たせ、各自の交流団参加の課題を持たせることが交流団員の士気高揚に繋がっている。 参加者の報告からどの団員も大きな成果を感じている事がわかる。市の代表という自覚や言葉は通じなくても誠意を持つての対応で心が通じたこと、中国の歴史や文化の理解等沢山の事を得た様である。特に海外に出て初めて見つめることができた沖縄の歴史や文化・芸能の素晴らしさ等に気づいた子もいる。「灯台もと暗し」にならぬよう事前研修の中に、琉球や浦添の歴史文化についても学ぶ機会を充実して欲しい。そうすることで中国・泉州市の歴史・文化にも興味・関心が高まるであろう。 課題として、参加者が各学校から公平に参加できることを期待したい。受け入れから計画的に行う必要がある。また、研修の事後報告を市長や教育長への報告と併せて、各学校で全体朝会等を活用してできるようプレゼンの資料作成で事務局の関わりが大きく、統一資料でもよいので、次の参加者を見据えての取り組みに期待したい。
2	有効性	3		
3	効率性	3		
4	優先度	3		
A			課題： 機会の公平性の観点から、市内小中学校から各1名の派遣が望ましい。所属小中学校の偏りがある。 多くの児童生徒が興味をもってもらう取組が必要である。	
			今後の方向性： 上記課題解消に向け、1校当たり1人以上の児童生徒を推薦させるように働きかける。具体的には、ホームビジット受入を行った児童生徒は、派遣の際に優先的に選考を行うことを市内小中学校へPRする。また、各学校において意見発表会等で発表させることで他の児童生徒に興味をもってもらう取組	

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.13	事業名	適応教室適応指導員配置事業	担当課	こども青少年課
事業概要	適応指導教室に適応指導員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等を行い、学校復帰を支援する。			
内部評価			有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果： 教育相談室「くくむい」を通して、適応指導教室「いまあじ」での指導及び支援が望ましいとされた児童生徒が4名入級した。 入級生は、いまあじ担任と適応指導員の支援により、課題への取り組みや提出等をスムーズに行うことができた。また、入級生保護者との面談を適宜実施することで、進路決定につなげることができた。 令和元年度より「いまあじ」がこども青少年課所管となったことにより「くくむい」との連携がより密になり、体験通級・交流生が増えた(21名)。体験通級・交流生は、遠足・農園活動・スポーツ活動・学習活動等を通してコミュニケーションを図ることができた。 さらに、市内在住の不登校児童生徒を持つ保護者対象の交流会「てだこきずなの会」を年3回実施する中で、保護者はそれぞれの悩みを共有し、ネットワークを構築するきっかけとなった。</p>	<p>前年度まで「適応指導教室：いまあじ」は、市教育研究所の所管であったが、令和元年度からこども青少年課所管に業務移管されている。これまで、こども青少年課の教育相談室「くくむい」と「いまあじ」は連携をしながら市内の小・中学校の登校渋りや登校拒否等の児童生徒に寄り添い、相談から適応指導教室での集団活動を経て、学校復帰を見据えた活動を支援してきた。今回、両方の業務がこども青少年課に移管されたことで、更に連携が図られ「いまあじ」の担任や適応指導員と「くくむい」の相談員との連携が密になりより細かな支援が可能となっている。また、こども青少年課の職員の協力も得て体験活動やスポーツ活動、学習活動が充実してきた。児童・生徒にとって学校にはない農園活動やスポーツ活動のプログラムを通して、自然の偉大さや尊さ、他者と関わる社会性を感じる一助になっている。学級では、基本的な生活習慣の確立や生活リズムを整え、仲間と集団活動や学習課題への取り組みをしながら、早期の学校復帰をめざしている。 更に、子どもたちの保護者の不安や相談事を教室、行政と共有するために設けられた「てだこきずなの会」が開催され、会を通じて保護者の不安の払拭や連携が図られることは意義のある交流会となっている。 今後の課題として、「いまあじ」への通級には、保護者の協力も必要で有り、「体験通級や交流」から「いまあじ」入級へ繋げる事ができないケースをどう工夫していくかが求められる。また、「いまあじ」の適応指導員が前年度の2名体制から1名に減員されたことは、これから益々増えてくるであろう学校不適應や登校渋りなどへの対応が弱体化する事が懸念されるので、予算の増額を強く要望したい。併せて、「メンタルフレンド」の活用を充実させ、一人でも多く学校復帰できる児童・生徒が増えることを期待したい。併せてメンタルフレンドの人材確保を図ることも必要である。</p>
2	有効性	3	<p>課題： 教育相談室「くくむい」への相談件数増加に伴い、適応指導教室「いまあじ」への入級希望者も増加している。しかし、保護者への支援が必要で送迎が困難で、毎日通級することができないなど、ケースの抱える課題も多くスムーズな入級が難しい。 また、適応指導員が2名から1名となったため、受け入れ人数にも限界がある。</p>	
3	効率性	3	<p>今後の方向性： 保護者支援として保護者同士気軽に情報交換できる場を提供する。また、限られた資源の中で安定した支援を行うために、メンタルフレンド(大学生ボランティア)を年間通して活用する。</p>	
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.14	事業名	ICT を活用したわかる授業構築を支援するための IT 指導員派遣事業		担当課	教育研究所
事業概要	ICT 機器整備校において ICT 機器を活用した分かりやすい授業を展開するため、IT 指導員を派遣し児童生徒・教職員をサポートし、学校教育の質の確保を図る。				
内部評価				有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等		意見
1	必要性	3	<p>成果： 令和元年度も市内の学校に電子黒板やタブレット等の機器整備した学校で児童生徒・教職員へのサポートを全面的に行なってきた。 令和2年2月に各学校に行なった IT 指導員の学校配置についての事業評価では、非常に効果があると答えた学校が100%であった。 IT 指導員が手がけてきたサポート総時数は3月31日現在で4558時間になる。特に、授業支援に関するサポート等が2824時間となり全体の6割にも及ぶ。学校現場を IT 指導員が巡回し、授業での ICT 機器活用をサポートや機器メンテナンスを実施したことで、学校教育の質の確保が図れた。</p> <p>課題： 教職員、児童生徒への ICT 活用講座、機器設定作業、機器不具合等の対応、ホームページ作成支援、学校情報管理等、業務内容が激増する中、16校3人体制は十分ではない。また、9月より1人欠員が生じ、3月まで2人体制で16校を担当していたため、人員確保が課題である。</p> <p>今後の方向性： 本事業は、一定程度の成果をあげ、令和元年度をもって終了となる。 しかしながら、加速度的に ICT 機器整備等が進められていく中、学校現場における教師や児童生徒を支える人的支援の確保を図り、質の高い授業の創出に努める。</p>		<p>本市の ICT 機器の環境は、電子黒板やタブレット等順次整備され充実してきた。学校においては各教科の授業で活用され、児童生徒にとって ICT 機器活用の授業は興味・関心が高く学習意欲も旺盛である。理科や社会科などで居ながらにして、未知の世界や各地域の様子を知り得たり、算数の図形などで角度や長さを自由に変えてみたりすることができるのは ICT 機器の醍醐味である。その授業には、IT 指導員と担任との T・T 授業や IT 指導員の支援による授業等が展開され、これまで IT 指導員のサポートが 4558 時間、その 6 割が授業支援である。教職員や児童生徒への直接支援以外にも機器の設定やメンテナンス等ソフト・ハード両面で多くの支援を行っている。IT 指導員に対する学校からの評価は「効果あり」が 100%を示し、「IT 指導員と授業を行う際は専門性が生かされ充実した授業ができる」等賞賛の声が届けられ、専門性を持つ IT 指導員の必要性が示されている。更に、新学習指導要領によりプログラミング学習が導入され、担任だけの指導には技量の差があり充実した指導は困難であるので、益々専門性を持つ IT 指導員の存在が必要とされる。 そのような中、IT 指導員派遣事業が令和元年度で終了することは、学校現場にとって ICT 機器活用の衰退が懸念される。機器は整備されてもマンパワーが弱体化することは、児童生徒の授業での活用力が落ちることになり多額な予算を投じた機器が十分に活用されない状態が危惧される。また、これまで IT 指導員が担ってきた機器の不具合等への対応も業者委託となると修理等に時間がかかり学校の授業に大きな支障が出ると共に修繕費等のコストが高まり財政面での負担となる事が予想される。 今回の新型コロナウイルスの感染拡大防止でリモート授業等が取り上げられ、今後も新しい生活様式でその必要性が提唱されている中で、今後は益々 ICT の活用が必要とされる。この時期にこそ、IT 指導員派遣事業は是非継続が必要であり、指導員数も学校数に応じた適正人員の増員確保が強く望まれる。</p>
2	有効性	3			
3	効率性	3			
4	優先度	3			

教育委員会点検・評価書(令和元年度実施事業)

No.15	事業名	学校給食費補助金交付事業	担当課	学校給食調理場
事業概要	保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図ることを目的として、浦添市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者に対し、所得制限を設け学校給食費を全額補助する。			
内部評価			有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果：浦添市立小中学校に通う児童生徒の保護者 345 人（内訳：児童 261 人、生徒 84 人）に対し、所得制限を設け、補助金を交付し経済的負担を軽減することができた。</p> <p>課題：補助金財源（3/4）は「沖縄県子ども貧困対策推進交付金」を充てているが、令和 3 年度をもって終了となることから、令和 4 年度以降の財源確保が課題である。</p> <p>今後の方向性：子育て世代が抱えている保護者の経済的負担を軽減する環境整備は極めて重要である為、財源を確保し事業継続に向け検討する。</p>	<p>学校給食は単なる昼食ではなく、教育課程に位置づけられた食育の場であり、学校に在籍する児童・生徒には一様に教育の一環としての給食を提供する必要がある。その給食は、保護者から給食費として徴収し食材費として賄っているので、給食費の納付率が高ければ充実した食材の提供ができる。しかし、児童・生徒の保護者の中には経済的に困窮して納付が困難な場合もある。法に基づき要保護・準要保護世帯の保護者には市から給食費の支援がある。</p> <p>今回の学校給食費補助金交付事業は市の施策による支援事業であり、合計所得金額が 180 万円以下の所得制限はあるが該当者には給食費全額が補助される事業は、保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境整備であり大変有益な事業である。但し、この補助事業は保護者からの申請により審査されるものなので、この事業制度がどの程度保護者に周知されているかも懸念される。学校を通じて周知を図っているが、今回の新型コロナウイルスの感染拡大防止による経済活動の自粛影響で、経済的困窮の増加が懸念されるので、令和 2 年度事業に向けて補助事業の周知徹底を図る必要がある。学校と連携し周知漏れが無いよう取り組んで欲しい。</p> <p>尚、本事業対象者の所得査定は、前年度の所得額で行われるのが通常であるが、今回の新型コロナウイルスの感染拡大防止による自粛期間の長期化により収入減になった保護者は多く存在するとみられ、給食費は大きな負担になる場合が想定されるので、市独自の支援取り組みに本事業に見合う支援策がないか工夫検討する必要がある。</p> <p>更に、この事業の財源が「沖縄県子ども貧困対策推進交付金」を充てており、その交付金は令和 3 年度で終了する時限交付金であるため、その後の本事業継続の財源確保が大きな課題である。国や県の新たな施策や方針など注視しながら財源確保に努め少しでも、保護者の経済負担が軽減できるよう努めて欲しいと強く要望したい。</p>
2	有効性	2		
3	効率性	2		
4	優先度	2		

資 料

(1) 教育委員会会議における議案等一覧

開催回数 21回（定例会 12回・臨時会 9回）

議案件名一覧（議案 75件・報告13件・指名 1件）

議案番号	定例会臨時会	開催日	案件審議結果	議案名
第1号	定-1	H31.4.5	取下げ	平成31年度浦添市教育委員会推進事業の策定について
第2号	定-1	H31.4.5	原案どおり承認	教科用図書那覇採択地区協議会委員の指名について
報告第1号	定-1	H31.4.5	—	教科用図書那覇採択地区協議会規約の一部改正の報告について
報告第2号	定-1	H31.4.5	—	平成31年度教科用図書那覇採択地区協議会調査員の報告について
報告第3号	定-1	H31.4.5	—	休職処分等の報告について
第3号	定-2	R1.5.8	原案どおり承認	臨時代理をしたことを報告し、承認を求めることについて
第4号	定-2	R1.5.8	原案どおり承認	第189回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第5号	定-2	R1.5.8	原案どおり承認	平成31年度浦添市教育委員会推進事業の策定について(再提案)
第6号	定-3	R1.6.3	原案どおり承認	浦添市立当山小学校の分離新設校の候補地選定について(答申)
第7号	定-3	R1.6.3	原案どおり承認	浦添市教育委員会ワーキングチーム設置規程
第8号	定-3	R1.6.3	原案どおり承認	浦添市まちづくり生涯学習推進本部設置規程の一部を改正する訓令
第9号	定-4	R1.7.5	原案どおり承認	浦添市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則
第10号	定-4	R1.7.5	原案どおり承認	浦添市立当山小学校分離新設推進チーム設置要綱
第11号	定-4	R1.7.5	原案どおり承認	浦添市立当山小学校分離新設推進チームメンバーの任命について
第12号	定-4	R1.7.5	原案どおり承認	浦添市立学校業務改善推進委員会設置規程
報告第4号	定-4	R1.7.5	—	浦添市立当山小学校分離新設推進チームの設置について
報告第5号	定-4	R1.7.5	—	浦添市立幼稚園教諭等職員採用候補者の選定について
報告第6号	定-4	R1.7.5	—	浦添市教育委員会点検・評価報告について
第13号	臨-1	R1.7.26	原案どおり承認	令和元年度公立学校管理職途中人事の内申について
第14号	定-5	R1.8.2	原案どおり承認	第190回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第15号	定-5	R1.8.2	原案どおり承認	浦添市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則

議案番号	定例会 臨時会	開催日	案件 審議結果	議案名
第16号	定-5	R1.8.2	原案どおり 承認	令和2年度使用小学校教科用図書の採択について
第17号	定-5	R1.8.2	原案どおり 承認	令和2年度使用中学校特別の教科道徳を除く教科用図書の採択について
第18号	定-5	R1.8.2	原案どおり 承認	令和2年度小学校・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
報告 第7号	定-5	R1.8.2	—	専決処分の報告について
報告 第8号	定-5	R1.8.2	—	専決処分の報告について
第19号	臨-2	R1.8.9	原案どおり 承認	第190回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について(追加)
第20号	定-6	R1.9.5	取下げ	浦添市立学校給食調理場運営に関する要綱の一部を改正する告示
第21号	定-6	R1.9.5	取下げ	浦添市立幼稚園の給食費の徴収に関する要綱
第22号	定-6	R1.9.5	取下げ	公立幼稚園配食事業要綱
第23号	定-6	R1.9.5	原案どおり 承認	浦添市立幼稚園保育料条例施行規則の一部を改正する規則
第24号	定-6	R1.9.5	原案どおり 承認	浦添市立幼稚園の預り保育の運営に関する規則の一部を改正する規則
第25号	定-6	R1.9.5	原案どおり 承認	神森小学校水泳指導委託に係る基本方針について
第26号	定-6	R1.9.5	原案どおり 承認	令和元年度浦添市立幼稚園教諭の人事配置について
第27号	定-6	R1.9.5	原案どおり 承認	教育委員会の人事について
報告 第9号	定-6	R1.9.5	—	専決処分の報告について
第28号	臨-3	R1.9.12	原案どおり 承認	浦添市立学校給食調理場運営に関する要綱の一部を改正する告示
第29号	臨-3	R1.9.12	原案どおり 承認	浦添市立幼稚園の給食費の徴収に関する要綱の制定
第30号	臨-4	R1.10.18	取下げ	令和元年度公立学校管理職途中人事の内申について
第31号	臨-5	R1.10.23	原案どおり 承認	令和元年度公立学校管理職途中人事の内申について
第32号	定-8	R1.11.1	原案どおり 承認	第191回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第33号	定-8	R1.11.1	原案どおり 承認	浦添市立幼稚園の給食費の徴収に関する要綱の一部を改正する告示について
第34号	定-8	R1.11.1	原案どおり 承認	浦添市立幼稚園保育料条例施行規則の一部を改正する規則について
第35号	定-8	R1.11.1	原案どおり 承認	浦添市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例への意見聴取

議案番号	定例会 臨時会	開催日	案件 審議結果	議案名
第36号	定-9	R1.12.5	原案どおり承認	浦添市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
第37号	定-9	R1.12.5	原案どおり承認	未来に翔たく太陽っ子育成事業補助金交付規程の一部を改正する訓令
第38号	定-9	R1.12.5	原案どおり承認	浦添市教育委員会公印規則の全部改正について
第39号	定-9	R1.12.5	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について(退職)
報告 第10号	定-9	R1.12.5	原案どおり承認	専決処分の報告について
報告 第11号	定-9	R1.12.5	原案どおり承認	専決処分の報告について
第40号	定-10	R2.1.10	原案どおり承認	浦添市教育委員会の組織、事務分掌等に関する規則の一部を改正する規則について
第41号	定-10	R2.1.10	原案どおり承認	令和元年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
第42号	定-11	R2.2.7	原案どおり承認	第192回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第43号	定-11	R2.2.7	原案どおり承認	浦添市立幼保連携型認定こども園(内間こども園)の職員体制についての意見の申し出について
第44号	定-11	R2.2.7	原案どおり承認	令和2年度浦添市立幼稚園教諭の人事異動について
第45号	臨-6	R2.2.19	原案どおり承認	令和2年度浦添市立幼稚園教諭の人事異動について
第46号	臨-6	R2.2.19	原案どおり承認	令和2年度公立学校管理職員等の人事異動の内申について
第47号	臨-6	R2.2.19	原案どおり承認	令和2年度浦添市立幼稚園園長の任免について
第48号	臨-7	R2.2.21	原案どおり承認	令和2年度公立学校教職員等の人事異動の内申について
第49号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	浦添市立学校給食調理場設置条例の施行及び給食の実施に関する規則の一部を改正する規則について
第50号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	浦添市こども青少年運営協議会規則の一部を改正する規則について
第51号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	浦添市立体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
第52号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	浦添市立学校体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について
第53号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	浦添市教育委員会教科指導員設置に関する規則の一部を改正する規則について
第54号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	浦添市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について
第55号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	浦添市就学援助規則の一部を改正する規則について
第56号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	組織機構改革等に伴う共同訓令の整理に関する共同訓令について

議案番号	定例会 臨時会	開催日	案件 審議結果	議案名
第57号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	浦添市職員ストレスチェック制度実施規定の一部を改正する訓令について
第58号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	指導主事の派遣に関する内申について
第59号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
第60号	定-12	R2.3.2	原案どおり承認	令和2年度公立学校教職員等の人事異動の内申について
報告 第12号	定-12	R2.3.2	—	休職処分の報告について
第61号	臨-8	R2.3.13	原案どおり承認	教育委員会の人事について
第62号	臨-8	R2.3.13	原案どおり承認	教育委員会の人事について(退職)
第63号	臨-8	R2.3.13	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
第64号	臨-8	R2.3.13	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
第65号	臨-8	R2.3.13	原案どおり承認	令和2年度公立学校教職員等の人事異動の内申について
第66号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金徴収規則の制定について
第67号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	浦添市立学校適正規模等審議会規則の一部を改正する規則について
第68号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	教育委員会組織機構改革等に伴う関係教育委員会訓令の整理に関する訓令について
第69号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則について
第70号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係教育委員会訓令の整理に関する訓令について
第71号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	浦添市教育委員会事務委任等に関する規則の一部を改正する規則について
第72号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	浦添市教育振興審議会規則の制定について
第73号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	教育機関の長の任用について
第74号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	教育委員会の人事について
第75号	臨-9	R2.3.30	原案どおり承認	浦添市立当山小学校分離新設推進チームメンバーの変更について
報告 第13号	臨-9	R2.3.30	—	専決処分の報告について
指名	臨-9	R2.3.30	—	教育長職務代理者の指名について

(2) 教育委員の活動状況

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

日付	活動状況
04/01 (月)	平成31年度定期人事異動辞令交付式
04/01 (月)	浦添こども園開園式・入園式
04/04 (木)	教育委員会議に向けた勉強会
04/05 (金)	第1回 教育委員会 定例会
04/09 (火)	浦添市立小学校 入学式
04/09 (火)	浦添市立中学校 入学式
04/10 (水)	浦添市立幼稚園 入学式
04/17 (水)	校長連絡協議会
04/17 (水)	沖縄県市町村教育委員会連合会 第1回 理事会
04/24 (水)	教育委員会議に向けた勉強会
04/25 (木)	浦添市青少年健全育成市民会議 定期総会
05/08 (水)	第2回 教育委員会 定例会
05/15(水)	第1回 教科用図書那覇採択地区協議会
05/17 (金)	浦添市てだこ学園大学院入学式
05/20 (月)	第1回浦添市まちづくり生涯学習推進本部会議
05/24 (金)	浦添市PTA連合会新旧役員歓送迎会
05/28 (木)	令和元年度浦添市育英会評議会
05/28 (木)	教育委員会議に向けた勉強会
06/03 (月)	第3回 教育委員会 定例会
06/06(木)	浦西中学校における米軍機落下物事故現場視察
06/12 (水)	愛の声かけ一斉早朝コール作戦
06/17 (月)	教育委員会点検評価報告書作成に向けての事務調整
06/27 (木)	浦添市学力向上推進専門部会
06/28 (金)	7月定例会に向けての勉強会
07/01(月)	教科用図書那覇採択地区協議会会議に向けての勉強会
07/04 (木)	第33回浦添市少年の主張大会
07/05 (金)	第4回 教育委員会 定例会
07/10 (水)	第69回社会を明るくする大会

日付	活動状況
07/22 (月)	第2回教科用図書那覇採択地区協議会
07/23 (火)	第3回教科用図書那覇採択地区協議会
07/24 (水)	第4回教科用図書那覇採択地区協議会
07/26 (金)	第1回 教育委員会 臨時会
07/31 (水)	第19回教育文化講演会
08/02 (金)	第5回 教育委員会 定例会
08/02 (金)	中国泉州市交流事業派遣結団式
08/05 (月)	浦添市泉州市小中学生交流事業出発式
08/09 (金)	第2回 教育委員会 臨時会
08/30 (金)	9月定例会に向けた勉強会
09/05 (木)	第6回 教育委員会 定例会
09/12 (木)	第3回 教育委員会 臨時会
09/25 (水)	エコアイランド事業 (東村) 視察
09/29 (日)	神森中学校運動会激励
10/03 (木)	教育研究員入所式
10/03 (木)	青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会
10/04 (金)	第7回 教育委員会 定例会
10/13 (日)	浦添市立小中学校運動会(牧港小学校・仲西中学校)
10/15 (火)	第73回浦添市戦没者追悼式式典
10/16 (水)	学校訪問(浦添中学校)
10/18 (金)	第4回 教育委員会 臨時会
10/19 (土)	第42回浦添てだこまつり 第4回浦添市小学校校区こども会対抗ドッジビー大会
10/23 (水)	第5回 教育委員会 臨時会
10/23 (水)	沖縄県市町村教育委員会研修会
10/23 (水)	第2回 那覇地区市町村教育委員会協議会会議
10/24 (木)	学校訪問(港川中学校)
10/27 (日)	浦添市立学校運動会 (当山小学校・港川小学校)
10/29 (火)	学校訪問(牧港小学校)
10/30 (水)	学校訪問(内間小学校)
11/01 (金)	第8回 教育委員会 定例会
11/02 (土)	まなびフェスタ浦添2019 オープニングセレモニー

日付	活動状況
11/03 (日)	浦添市立学校運動会 (宮城小学校)
11/05 (火)	学校訪問 (仲西小学校)
11/06 (水)	浦添市小学校童話・お話大会
11/07 (木)	学校訪問 (神森小学校)
11/11 (月)	学校訪問 (沢岨小学校)
11/12 (火)	学校訪問 (浦城小学校)
11/18 (月)	学校訪問 (当山小学校)
11/20 (水)	学校訪問 (浦添小学校)
11/23 (土)	浦添市文化協会『第38回文化祭』
11/26 (火)	学校訪問 (神森中学校)
11/27 (水)	学校訪問 (宮城小学校)
11/29 (金)	学校訪問 (前田小学校)
11/30 (土)	第34回公民館まつり開会式
12/01 (日)	浦添市公民館まつり
12/05 (木)	第9回 教育委員会 定例会
12/08 (日)	2019年うらそえYA文芸賞表彰式
12/23 (月)	行政課題について事務局との調整
12/25 (水)	浦添こども園視察
01/08 (水)	令和2年浦添市消防出初式
01/08 (水)	2020浦添市新年祝賀会
01/10 (金)	第10回 教育委員会 定例会
01/12 (日)	令和2年浦添市成人式
01/17 (金)	青少年健全育成市民会議夜間街頭指導
01/23 (木)	全国学校給食週間における学校での児童生徒との学校給食の会食 (神森小学校)
01/24 (金)	てだこ学園大学院意見発表会
01/25 (土)	浦添市立港川小学校 創立40周年・新体育館落成記念式
01/26 (日)	第38回浦添市子ども会まつり
01/28 (火)	令和元年度 第42回浦添市社会教育研究大会
01/29 (水)	文科省研究指定校合同研究発表 (内間小・宮城小)
01/30 (木)	第3回那覇地区市町村教育委員会協議会会議
01/30 (木)	市町村教育委員会教育長・教育委員研修会

日付	活動状況
02/01 (土)	開館30周年記念シンポジウム「浦添市美術館のこれからを語る」
02/03 (月)	教育委員会定例会に向けた勉強会
02/06 (木)	第40回浦添市学校保健研究大会
02/07 (金)	第11回 教育委員会 定例会
02/08 (土)	令和元年度浦添市教育委員会表彰式
02/14 (金)	全国スポーツ推進委員功労者表彰等受賞祝賀会
02/15 (土)	浦添市PTA研究大会
02/19 (水)	第6回 教育委員会 臨時会
02/20 (木)	第6回採択地区協議会
02/21 (金)	第7回 教育委員会 臨時会
03/02 (月)	第12回 教育委員会 定例会
03/02 (月)	第1回 総合教育会議
03/05 (木)	第2回 総合教育会議
03/13 (金)	第8回 教育委員会 臨時会
03/25 (水)	第48期 教育研究所研究員成果報告会・修了式
03/27 (金)	教育委員会臨時会に向けた勉強会
03/30 (月)	第9回 教育委員会 臨時会
03/30 (月)	教育委員会定例会に向けた勉強会

(3) 教育長の活動状況

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

日付	活動状況
04/01 (月)	平成31年度定期人事異動辞令交付式
	浦添こども園開園式・入園式
	拡大庁議
04/02 (火)	新年度あいさつ訪問
	平成31年度浦添市初任者研修会
04/03 (水)	業務運営会議
	暴力団壊滅神森中学校区連絡協議会平成31年度定期総会
04/04 (木)	新年度あいさつ訪問
	事務調整
04/05 (金)	第1回 教育委員会 定例会
	新年度あいさつ訪問
04/08 (月)	事務調整
	沖縄県立浦添高等学校入学式
04/09 (火)	臨時庁議
	浦城小学校入学式
	浦西中学校入学式
04/10 (水)	港川幼稚園入学式
04/11 (木)	第1回不登校児童生徒対策推進委員会事前レク
04/12 (金)	第1回不登校児童生徒対策推進委員会
04/15 (月)	政策会議
	浦添市てだこ学園新役員来訪
	浦添市文化芸術振興事業協議会
04/16 (火)	庁議
04/17 (水)	校長連絡協議会
	第192回浦添市議会臨時会
04/18 (木)	こいのぼり掲揚式
	第42回(平成31年度)浦添てだこまつり実行委員会
	平成31年度中部南保護区保護司会浦添市支部定期総会
04/19 (金)	中央公民館利用者団体連絡協議会総会
04/20 (土)	第24回浦添市内中学校親善野球大会
04/22 (月)	第1回園長・副園長連絡協議会
04/23 (火)	教頭等連絡協議会
	浦添市文化芸術振興事業総会
04/25 (木)	国民体育大会2020年九州大会について
	那覇地区公立小中学校校長会懇親会

日付	活動状況
04/25 (木)	浦添市青少年健全育成市民会議 定期総会
05/08 (水)	第2回 教育委員会 定例会
	浦添市文化芸術振興事業協議会の答申
05/09 (木)	「早くお家へ帰ろう Go家運動」ゴーヤーの苗贈呈式
	那覇地区校長会来訪
	人権擁護委員との意見交換会
05/10 (金)	事務調整
05/13 (月)	事務調整
05/14 (火)	平成31年度(令和元年度)民生委員・児童委員の日活動強化週間出発式
05/15 (水)	第1回 教科用図書那覇採択地区協議会
	市町村教育委員会教育長連絡協議会
05/17 (金)	浦添市てだこ学園大学院入学式
05/18 (土)	第19回浦添市障がい児・者関係団体連絡協議会定期総会
	浦添市文化協会定期総会
05/19 (日)	浦添市ママさんバレーボール大会開会式
	浦添市連定期総会及び表彰式
05/21 (火)	県中体連表敬訪問
	浦添市民生委員児童委員連絡協議会定期総会
05/22 (水)	
05/23 (木)	第71回全国都市教育庁協議会定期総会並びに研究大会富山大会
05/24 (金)	
05/25 (土)	第70回沖縄県植樹祭
	浦添てだこライオンズクラブ結成35周年記念式典・祝賀会
06/03 (月)	第3回 教育委員会 定例会
	琉大附属中学校長表敬訪問
	事務調整
06/04 (火)	情報教育推進委員会
06/05 (水)	那覇地区特別教育研究会表敬訪問
	浦添市社会教育委員 辞令交付
06/07 (金)	第189回6月浦添市議会定例会
06/10 (月)	6月議会勉強会
06/11 (火)	事務調整
	一般質問勉強会
	事務調整
	高等学校文化連盟表敬訪問
	那覇地区特別支援教育研究会表敬訪問
06/12 (水)	愛の声かけ一斉早朝コール作戦
	NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会理事長就任あいさつのため来訪

日付	活動状況
06/13 (木)	第189回6月浦添市議会定例会
06/14 (金)	
06/15 (土)	沖縄県スポーツ推進委員協議会初任者研修
06/17 (月)	第189回6月浦添市議会定例会
	浦添商工会議所第57回通常議員総会後の懇親会
06/18 (火)	
06/19 (水)	第189回6月浦添市議会定例会
06/20 (木)	
06/23 (日)	気軽にクラシックコンサート
06/25 (火)	定例ミーティング
	浦添商工会議所訪問
06/26 (水)	第189回6月浦添市議会定例会
06/27 (木)	浦添市学力向上推進専門部会
06/28 (金)	7月定例会勉強会
07/02 (火)	定例ミーティング
	第69回「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式
07/03 (水)	校長連絡協議会
	浦添市中学生海外短期留学生派遣事業結団式
07/04 (木)	第1回情報化推進委員会
	第33回浦添市少年の主張大会
07/05 (金)	第4回 教育委員会 定例会
07/08 (月)	政策会議
	北那覇税務署 署長異動挨拶
07/09 (火)	定例ミーティング
07/10 (水)	事務調整
	第69回社会を明るくする大会
07/11 (木)	事務調整
	那覇地区公立幼稚園・こども園会表敬訪問
07/12 (金)	浦添高等学校筋肉祭
	事務調整
	「魔法の美術館 リターンズ」オープニングセレモニー
07/16 (火)	定例ミーティング
	事務調整
	浦添市青少年万引き防止対策会議
	庁議
07/17 (水)	辞令交付
07/19 (金)	北那覇税務署 署長着任挨拶
	浦添市PTA連合会役員来訪

日付	活動状況
07/22 (月)	政策会議
	第2回教科用図書那覇採択地区協議会
07/23 (火)	定例ミーティング
	第3回教科用図書那覇採択地区協議会
07/24 (水)	第4回教科用図書那覇採択地区協議会
	第5回教科用図書那覇採択地区協議会
07/25 (木)	教科用図書那覇採択地区協議会(予備日)
07/26 (金)	第1回 教育委員会 臨時会
	沖縄県都市教育長協議会
07/28 (日)	気軽にクラシックコンサート
07/29 (月)	政策会議
	沖縄県社会教育研究大会関係者来訪
07/30 (火)	定例ミーティング
07/31 (水)	沖縄県理科教育協会訪問
	第19回教育文化講演会
	令和元年度第1回浦添市文化財調査審議会
08/01 (木)	浦添市バレーボール祭り開会式
	那覇地区中文連訪問
08/02 (金)	第5回 教育委員会 定例会
	中国泉州市交流事業派遣結団式
08/03 (土)	第5回トロピカル沖縄交流学童軟式野球大会
08/05 (月)	浦添市泉州市小中学生交流事業出発式
	てだこホールネーミングライツ・パートナー調印式
08/06 (火)	定例ミーティング
	公民館運営審議会
08/07 (水)	業務運営会議
	事務調整
	地域学校協働活動推進員来庁
	浦添市医師会との意見交換会
08/09 (金)	第2回 教育委員会 臨時会
	浦添市泉州市小中学生交流事業解団式
08/11 (日)	浦添グスク・ようどれ探検
08/16 (金)	浦添市南米移住者子弟研修生歓迎夕食会
08/19 (月)	政策会議
	適正飲酒推進優良事業者認定証交付式
08/20 (火)	定例ミーティング

日付	活動状況
08/20 (火)	庁議
08/21 (水)	浦添市美術館企画展チケット贈呈
08/22 (木)	浦添市・泉州市小中学生交流事業派遣児童生徒来訪
08/23 (金)	沖縄県社会教育関係等連絡会 訪問
08/26 (月)	政策会議
08/27 (火)	定例ミーティング
	未来の学びを考える映画上映会
08/28 (水)	全国中学校体育大会選手等表敬訪問
	事務調整
08/29 (木)	業務運営会議
08/30 (金)	9月定例会に向けた勉強会
	浦添市中学生海外短期留学生派遣事業報告会
08/31 (土)	浦添市スポーツ少年団交流祭
	浦添市 語やびらしまくとぅば大会
09/02 (月)	第190回9月浦添市議会定例会
09/03 (火)	定例ミーティング
	9月議会勉強会
09/04 (水)	校長連絡協議会
	事務調整
09/05 (木)	第6回 教育委員会 定例会
09/06 (金)	第190回9月浦添市議会定例会
	育英会寄付金贈呈式
09/08 (日)	JICA沖縄交流事業「太陽の継承」
09/09 (月)	第190回9月浦添市議会定例会
09/10 (火)	定例ミーティング
	教頭等連絡協議会
09/11 (水)	第190回9月浦添市議会定例会
09/12 (木)	第3回 教育委員会 臨時会
	第190回9月浦添市議会定例会
09/13 (金)	仲西自治会十五夜獅子舞
	浦添市ママさんバレーボールシニア大会
09/15 (日)	仲西自治会敬老会
	第18回うらそえ青年祭
09/17 (火)	定例ミーティング
	魔法の美術館リターンズ お礼挨拶
09/19 (木)	税の作品表彰式に係る事務調整

日付	活動状況
09/24 (火)	定例ミーティング
	第190回9月浦添市議会定例会
	うらおそい歴史ガイド養成講座 修了式・認定証交付
09/25 (水)	地主組合総会あいさつ
09/26 (木)	育英会寄付金贈呈式
	「アメリカで沖縄の未来を考える」(TOFU)プログラム参加者報告会
09/28 (土)	浦添市立中央公民館開館40周年記念事業講座
09/29 (日)	沖縄都市モノレール延長開業式
	沖縄都市モノレール延長出発式
	沖縄都市モノレール延長開業記念祝賀会
09/30 (月)	教育長表敬
10/01 (火)	定例ミーティング
	辞令交付式
	株式会社アイムユニバース ネーミングライツパートナー除幕式
10/02 (水)	業務運営会議
	社会教育主事辞令交付式
	決算委員会冒頭あいさつ
	文部科学省研究指定校公開授業
10/03 (木)	教育研究員入所式
	青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会
10/04 (金)	第7回 教育委員会 定例会
10/05 (土)	第13回少年野球教室開会式
10/06 (日)	仲西小学校運動会
10/07 (月)	政策会議
	那覇教育事務所訪問
10/08 (火)	定例ミーティング
	公立小中学校教職員人事異動説明会
	第2回市町村教育委員会教育長連絡協議会
10/09 (水)	
10/10 (木)	九州都市教育長協議会定期総会
10/11 (金)	
10/13 (日)	浦西中学校運動会
10/15 (火)	定例ミーティング
	第73回浦添市戦没者追悼式式典
	事務調整
	庁議

日付	活動状況
10/16 (水)	学校訪問 (浦添中学校)
10/18 (金)	第4回 教育委員会 臨時会
	第42回浦添てだこまつり 前夜祭
10/19 (土)	第42回浦添てだこまつり
10/20 (日)	
	第59回沖縄県児童・生徒科学賞作品展表彰式
10/21 (月)	「浦添市てだこ学園大学院」について意見交換会
	教育長表敬(てだこホール)
10/22 (火)	宮城珠算学校 校内そろばん大会
10/23 (水)	第5回 教育委員会 臨時会
	沖縄県市町村教育委員会研修会
	第2回 那覇地区市町村教育委員会協議会会議
10/24 (木)	学校訪問(港川中学校)
10/25 (金)	沖縄県教職員組合那覇支部来庁
10/26 (土)	キンザーフェスト2019
10/27 (日)	第4回琉球かれんサークル発表会～沖縄で生まれた癒しの弦楽器～
	第18回うらそえ青年祭
10/28 (月)	政策会議
	評価者(中間)面談
	庁議
10/29 (火)	定例ミーティング
	学校訪問(牧港小学校)
	評価者(中間)面談
10/30 (水)	学校訪問 (内間小学校)
	校内研究授業講師
10/31 (木)	庁議
	評価者(中間)面談
11/01 (金)	第8回 教育委員会 定例会
	令和元年度沖縄県青少年赤十字大会開会式
11/02 (土)	第32回ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト展
	令和元年度単位PTA親睦スポーツ大会開会式
	浦添市中学生平和交流事業に参加した10名による研修報告会
	まなびフェスタ浦添2019「放課後子どもフェスタ」
11/03 (日)	文化の日企画 歴史ロマン街道「尚寧王の道を訪ねる」
	浦添市吹奏楽団演奏会
11/05 (火)	定例ミーティング
	文部科学省職員教育行政・学校教育等実務研修生受け入れ
	学校訪問 (仲西小学校)

日付	活動状況
11/06 (水)	校長連絡協議会
	浦添市小学校童話・お話大会
11/07 (木)	学校訪問 (神森小学校)
	沖縄国際学院高等専修学校表敬訪問
11/08 (金)	事務調整
11/09 (土)	緑の育樹祭
	那覇地区善行児童生徒表彰式
11/11 (月)	学校訪問(沢岷小学校)
11/12 (火)	定例ミーティング
	学校訪問 (浦城小学校)
11/13 (水)	那覇・浦添地区中学校特別支援学級第38回陸上競技大会
11/16 (土)	浦添市ハンドボール王国まつり(第44回日本ハンドボールリーグ)
	令和元年度浦添市・蒲郡市友好都市交流事業
11/18 (月)	政策会議
	学校訪問(当山小学校)
11/19 (火)	定例ミーティング
	第61回沖縄県社会教育研究大会
	庁議
	事務調整
11/20 (水)	学校訪問(浦添小学校)
	育英会理事会
11/21 (木)	浦添市英語教育研修会
11/22 (金)	空港出迎え
11/23 (土)	浦添市文化協会『第38回文化祭』
	デンマーク女子ハンドボールチーム合宿に係る関係者との会食
11/24 (日)	浦添中学校区サンライズフェスタin2019
	浦添市市制施行50周年記念プレトークショー
11/25 (月)	政策会議
	デンマークハンドボール協会との事前キャンプに関する協定締結式
11/26 (火)	定例ミーティング
	学校訪問 (宮城小学校)
	ダンスチーム"eclipse(イクリプス)"表敬訪問
	「深夜の子連れ飲食の制限について」大円卓会議
11/27 (水)	学校訪問(宮城小学校)
	デンマーク女子ハンドボールチーム合宿選手激励会
11/28 (木)	一般質問割振

日付	活動状況
11/29 (金)	学校訪問(前田小学校)
11/30 (土)	第34回公民館まつり開会式
12/02 (月)	第191回12月浦添市議会定例会
12/03 (火)	定例ミーティング
	議会勉強会
12/04 (水)	事務調整
	文部科学省研究指定校公開授業
	民生委員・児童委員一斉改選にかかる委嘱状交付式
	「スクールセーフティサポーター(仮称)」発足に向けた顔合わせの会
12/05 (木)	第9回 教育委員会 定例会
12/06 (金)	第191回12月浦添市議会定例会
12/07 (土)	第25回沖縄県中学校総合文化祭
	浦添市障がい児・者ふれあいクリスマス会
12/08 (日)	第6回バリアフリーオリンピック(多目的屋内運動場・武道場・会議室)
	2019年うらそえYA文芸賞表彰式
12/09 (月)	
12/10 (火)	第191回12月浦添市議会定例会
12/11 (水)	
	一般社団法人浦添市医師会忘年会
12/12 (木)	第191回12月浦添市議会定例会
12/13 (金)	
12/14 (土)	村まわり組踊
12/15 (日)	第43回全国育樹祭
12/16 (月)	文化祭の報告とお礼
12/17 (火)	定例ミーティング
	新市民体育館検討委員会事前レクチャー
12/18 (水)	浦添市教育委員会表彰選考審査会
12/19 (木)	第191回12月浦添市議会定例会
12/20 (金)	記者会見事前レク
12/21 (土)	浦添市婦人連合会創立70周年記念式典及び祝賀会
12/23 (月)	第42回浦添てだこまつり実行委員会
	記者会見事前レク
12/24 (火)	定例ミーティング
12/25 (水)	玉城朝薫家譜寄贈記者会見
12/26 (木)	「ちゅらうちな一草の根平和貢献賞」受賞報告
12/27 (金)	拡大庁議
	辞令交付
01/06 (月)	国旗・県旗・市旗・レインボーフラッグ掲揚式

日付	活動状況
01/06 (月)	令和2年 年始式
	拡大庁議
01/07 (火)	定例ミーティング
01/08 (水)	令和2年浦添市消防出初式
	2020浦添市新年祝賀会
01/10 (金)	第10回 教育委員会 定例会
	浦添市小中学生美術作品展
01/12 (日)	令和2年浦添市成人式
01/14 (火)	定例ミーティング
	教育長表敬(青少年赤十字の普及における協力依頼)
	公益社団法人浦添青年会議所2020年度新年意見交歓会
01/15 (水)	浦添市民生委員児童委員連絡協議会新春の集い
01/16 (木)	てだこサンサン共同企業体表敬訪問
01/17 (金)	IT津梁まつり2020
01/20 (月)	表敬訪問
01/21 (火)	定例ミーティング
	庁議
	叙勲・褒章・大臣表彰等受賞者合同祝賀会並びに年末懇親会
01/23 (木)	全国学校給食週間における学校での児童生徒との学校給食の会食 (神森小学校)
	育英会理事会
01/24 (金)	第2回沖縄県都市教育長協議会
01/25 (土)	第26回愛汗祭
	浦添市立港川小学校 創立40周年・新体育館落成記念式
01/26 (日)	第38回浦添市子ども会まつり
01/27 (月)	政策会議
	評価者最終面談
01/28 (火)	定例ミーティング
	「うらそえ文芸」第24号出版祝賀会・新年会
	庁議
	令和元年度 第42回浦添市社会教育研究大会
01/29 (水)	浦添商業高校首里城復興支援金贈呈式
	文科省研究指定校合同研究発表(内間小・宮城小)
	生盛悦子氏瑞宝双光章受章祝賀会
01/30 (木)	第3回那覇地区市町村教育委員会協議会会議
	市町村教育委員会教育長・教育委員研修会
01/31 (金)	評価者最終面談
	第1回史跡中城方西海道及び普天間参詣道保存活用計画策定委員会
	評価者最終面談

日付	活動状況
02/01 (土)	東京ヤクルトスワローズ歓迎式
	開館30周年記念シンポジウム「浦添市美術館のこれからを語る」
02/02 (日)	家庭教育フォーラムin沖縄
02/03 (月)	政策会議
	教育委員会定例会に向けた勉強会
02/04 (火)	定例ミーティング
02/05 (水)	校長連絡協議会
	浦添市文化芸術振興事業協議会
02/06 (木)	浦添市情報教育推進委員会
	事務調整
	第40回浦添市学校保健研究大会
	浦添小学校男子バスケット「第34回沖縄県冬季選抜ミニバスケットボール大会」出場報告
02/07 (金)	業務運営会議
	第11回 教育委員会 定例会
02/08 (土)	令和元年度浦添市教育委員会表彰式
02/09 (日)	てだこウォーク 出発式
02/10 (月)	政策会議
	第2回不登校等児童生徒対策推進委員会に向けての事前レク
02/12 (水)	庁議
	浦添市行政改革推進本部
	令和元年度第2回不登校等児童生徒対策推進委員会
	東京ヤクルトスワローズ歓迎の宴
02/13 (木)	朝の読み聞かせ
	第2回浦添市学力向上推進委員会
02/14 (金)	教頭等連絡協議会
	全国スポーツ推進委員功労者表彰等受賞祝賀会
02/15 (土)	第42回沖縄青少年科学作品展式典
	那覇地区中学校体育連盟結成60周年記念式典
02/17 (月)	第3回浦添市情報化推進委員会
02/18 (火)	「わたしと宇宙展ー奇跡の地球に生きるー」沖縄展
	東京2020オリンピック聖火リレーにかかるテロ対策訓練
02/19 (水)	第6回 教育委員会 臨時会
	市民体育館に係る事務調整
02/20 (木)	第6回採択地区協議会
	市町村教育委員会教育長連絡協議会
02/21 (金)	第7回 教育委員会 臨時会
02/25 (火)	定例ミーティング

日付	活動状況
02/25 (火)	一般質問割振
	東京ヤクルトスワローズ春季キャンプ打ち上げ式
	浦添市文化芸術振興事業協議会答申
02/26 (水)	第192回3月浦添市議会定例会
	浦添市文化協会 令和元年度新春受賞者祝賀会
02/27 (木)	議会勉強会(教委)
02/28 (金)	市民体育館に係る事務調整
	事務調整
03/02 (月)	第12回 教育委員会 定例会
	第1回 総合教育会議
	育英会寄附金贈呈式
03/03 (火)	定例ミーティング
	第192回3月浦添市議会定例会
03/04 (水)	第192回3月浦添市議会定例会
03/05 (木)	第2回 総合教育会議
03/06 (金)	第192回3月浦添市議会定例会
03/09 (月)	
03/10 (火)	定例ミーティング
	第192回3月浦添市議会定例会
03/13 (金)	第8回 教育委員会 臨時会
03/17 (火)	定例ミーティング
03/18 (水)	補助教材贈呈式
03/19 (木)	浦添市てだこ学園大学院卒業式
03/24 (火)	定例ミーティング
	図書利用カード表彰式
	市民体育館に係る事務調整
03/25 (水)	第2回幼稚園教育審議会
	第48期 教育研究所研究員成果報告会・修了式
03/26 (木)	第192回3月浦添市議会定例会
03/27 (金)	勉強会
	第4次てだこ親子プラン答申
03/30 (月)	第9回 教育委員会 臨時会

点検・評価を終えて

令和2年度の「教育委員会点検・評価書」がまとまりました。

「教育委員の活動評価」については、平成30年度より、新教育委員会制度導入に伴い教育長への評価も加え、項目ごとにABCの評価を行う自己評価方式を導入しました。今年は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、3月には休校の措置をとることで、学校を始め関係機関、職員、保護者の皆様、地域住民の方々に多方面でのご協力を頂きました。

毎月行われている教育委員会議においては、審議の活性化、深化を図るため事前の議案資料の読み込みや、自主的な学習の場を設けるなどして会議に臨み充実を図ってきました。また、毎年実施している市内16校の学校訪問を始め、多くの本市学校教育事業、社会教育事業、更には本市教育関係団体主催事業等にも積極的に参加し現状把握に努めてまいりました。しかしながら、限られた時間の中で、学校以外の教育機関が抱える課題や現状把握については未だ十分とは言えず、Bという自己評価を下したところです。

「教育長への委任性務」については、重点施策と位置付ける事業の中から15の事業を精選し、各事業主管課で4つの観点で自己評価を行い総合評価を出して頂きました。その上で、有識者による外部評価を行って頂きました。

15事業のうち14事業がA評価で、事業全体としては、前年度の評価も踏まえ着実に推進されたと思われまます。しかし、観点の一つである「事業の効率性」においては、5事業が2点評価となり、課題を確認することができました。その課題については有識者の具体的なご意見等もいただくことができました。

今後は、事業ごとに確認した内部評価をもとに、課題や今後の方向性、更には有識者による指摘や助言を真摯に受け止め、施策の着実な実現に向け効果的な教育行政の推進に努めてまいりたいと思えます。

市民の皆様の関心や要望を適切に反映させながら教育行政を行っていくためには、教育委員会が本市の教育の実情や行政課題をよりの確に把握し、適切な施策を講じる必要があります。さらに、総合教育会議などを通して、市長と本市教育の課題を共有し、課題解決そして発展に向け連携していくことが重要と考えます。

結びに、有識者の大城 喜江子様、下地 安広様、銘苺 健様には、令和2年度の「点検・評価」にあたり、書面のみならず、担当部署や関係者への聞き取り、現地調査、関係資料の読み込みなど精力的に取り組まれ、大所高所からのご助言、ご意見を頂きましたことに衷心より厚く感謝を申し上げます。

浦添市教育委員会